地域の将来、子供たちの未来のために… 夢ある郷土づくり。

島根県議会議員

池田はじめ 県政だより

二〇二六年 八月号

斐川のみなさまへ

島根県知事　丸山達也

島根県知事の丸山達也でございます。８年前の県知事選挙初出馬以来、池田はじめ県議をはじめとする斐川の皆さまには、日頃より一方ならぬご支援を賜っております。

まず最初に、先ごろ開催された６月県議会定例会の開会日にお話しさせていただきました私の病状について、斐川の皆さまにお伝えしなければなりません。

私は５月に行いました精密検査の結果、膀胱がんの診断を受けました。病状については転移のないステージ３とされています。

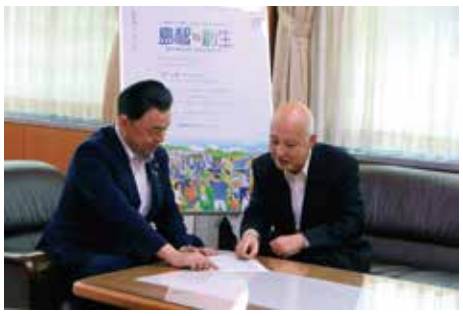
６月中旬から約三か月の薬剤投与治療を行なったのち、膀胱の全摘出手術を行うため約一か月入院する見込みです。

知事として自信をもって職務を果たしていくためには、薬剤投与による治療だけでなく、膀胱の全部を摘出する手術を行うことが望ましいと主治医が判断されましたので、私としても公務遂行を最優先に取り組むため、摘出手術を受けることにしました。



主治医からは、通院や入院による治療を公務と両立しながら職務を続けることは可能であると聞いており、現在も薬剤投与を受けながらできる限りの業務を行っています。

皆さまにはご心配とご迷惑をおかけしておりますが、県民の皆様の期待に応え、知事の職責を自信をもって果たしていくために、今後必要な治療をしっかり行っていきたいと思っております。









ごあいさつ

池田はじめ

池田はじめはこの度第８２代の島根県議会議長の職務を無事終える事が出来ました。

混乱した国際情勢などによる諸物価高騰の折、県政も県内各事業者・県民を守るための様々な施策をスムーズに進めていく事が重要な課題だったのですが、島根県議会が丸山知事をしっかり支える事で、必要な施策が着実に進められたのではないかと思っています。議長就任中はこのように議会の意見をまとめ、また議会の代表として県内外に赴き、県政発展のため様々な職務を行ってまいりました。結果地元にいる時間が少なくなり、皆様方には大変なご迷惑をおかけしましたが、今後は丸山知事を支える議員として議長の経験を活かし、更なる斐川地域・島根の発展に尽力していきたいと思っています。

県議会議長として



令和7年6月9日
議長就任



令和7年7月24日
総理と都道府県議長の懇談会



令和7年8月5日
中国5県議長会



令和7年9月4日
商工会連合会要望



令和7年9月9日
農業協同組合要望



令和7年9月10日
林業活性化議員連盟要望



令和7年9月15日
国民スポーツ大会結団式



令和7年9月21日
山陰道建設促進総決起大会



令和7年9月26日
9月定例県議会



令和7年9月27日
島大医学部創立50周年式典



令和7年10月6日
インド島根県デーイン東京



令和7年11月4日
秋の重点要望（舞立財務副大臣）



令和7年11月4日
秋の重点要望（鈴木憲和農林水産大臣）



令和7年11月25日
11月定例会



令和7年12月23日
宇迦橋開通記念テープカット



令和8年1月15日
JAしまね斐川
共乾施設機能再編工事安全祈願祭



令和8年1月20日
土地改良事業推進議員連盟要望活動



令和8年2月19日
11月定例会（議長最後の定例会）



令和8年2月19日
町村議長会要望



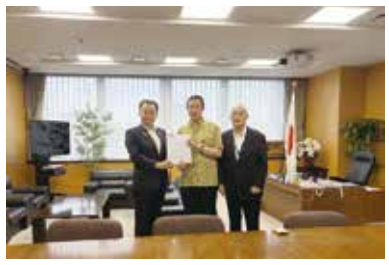
令和8年2月22日
竹島の日記念式典



令和8年4月28日
島根県農政会議通常総会



令和8年6月2日
春の重点要望
（あかま二郎領土問題担当大臣）



令和8年6月2日
春の重点要望
（黄川田仁志内閣副大臣）

斐川地域・農業の将来のために・令和の土地改良事業

集中豪雨や渇水など、自然災害が激甚化する昨今、斐伊川下流域の住民や地域農業を守るためにも、これからを見据えた土地改良基盤整備は必要です。

1. 湖岸北・新中央地区県営水利施設等保全高度化事業

斐川町内、特に宍道湖岸地域について、排水能力強化による安心な暮らし、用水機能回復による安定的な用水の供給を目指して、用排水施設の老朽化対策として、土地改良事業（施設改修）を県営にて行っています。地元の皆様のご理解とご協力により順調に進んでおり、令和 12 年度事業完了を予定しています。

湖岸北地区今後の整備スケジュール（R8.6現在）

施設	内容	詳細	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
湖岸北排水機場	土木工事	敷地造成・集水路開削・橋梁・樋管樋門	→				
		造成地地盤改良	←	→			
		排水機場下部工		←	→		
	上屋工事	建屋造成			←	→	
	機械設備工事	ポンプ・除塵機		←	→		
	試験運転	試験運転・排水観測				←	→
	定置網移設						⇔
	既設機場撤去	新三分市・新左岸・島村排水機場撤去					⇔
φ800mm パイプライン	業務	測量・調査・設計	⇔	⇔	⇔		
	土木工事	パイプライン更新	⇔	⇔	⇔		
揚水機場（網場・中央）	工事	除塵設備更新工事	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔
		ポンプ設備更新	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔

新中央地区今後の整備スケジュール（R8.6現在）

施設	内容	詳細	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
新中央排水機場	機械設備工事	ゲート補修工事	→				
	上屋工事	上屋補修	←	→			
黒目揚水機場	工事	ポンプ設備更新	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔
三分市上揚水機場	工事	ポンプ設備更新	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔
坂田上揚水機場	工事	ポンプ設備更新	⇔	⇔	⇔	⇔	
一本松揚水機場	工事	ポンプ設備更新	⇔	⇔	⇔	⇔	


造成中の湖岸北排水機場



更新された新中央排水機場

更新予定の揚水機場


中央


網場


一本松


坂田上


三分市上


黒目

2.農業用水のための国営事業

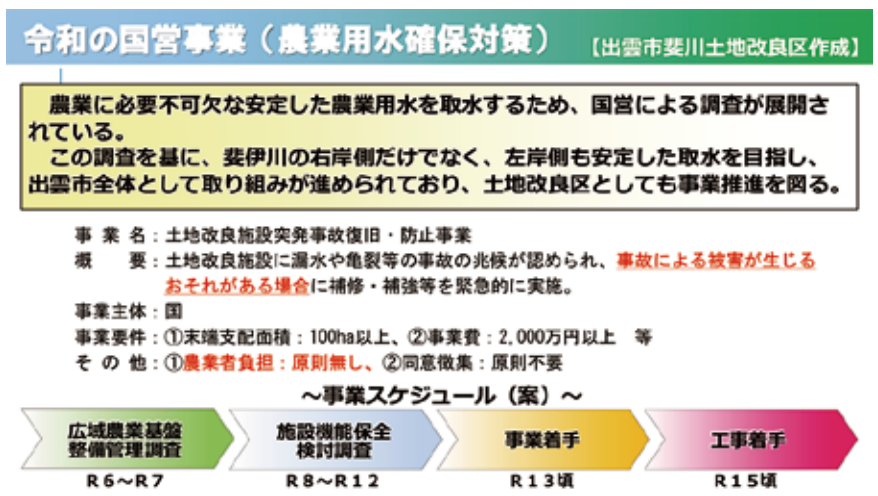
斐伊川からの安定した農業用水確保のため、国（農林水産省）の調査が現在展開されています。この調査をもとに左岸も含めた斐伊川下流域全体の取り組みが、国土交通省の理解も得つつ、進められることになりました。これは農業者負担が生じない国営事業であり、今年度から施設機能保全検討調査が始まり、概ね令和13年頃の事業着手へと向かっていきます。近年多発する水不足への対策の大きな一歩になります。

【現状】

- 想定以上に河床低下が進み、取水が困難に
- 用水が必要な時期に安定取水ができない
- 毎年多額の砂堰構築費用が必要



【対策】



一日も早い完成を目指し、これからも要望活動に尽力します。

阿宮・出雲南部・雲南地域と斐川の架け橋・斐川上島線

2007年、私が初当選した20年前、町内で多くの皆さまに懇願されたことの一つに、阿宮武部間の道路整備の問題がありました。1996年から阿宮側の道路整備工事が始まり、同年8月23日には第一回の斐川上島線期成同盟会が立ち上がりました。しかし、工事は思ったように進まず、私が当選してすぐ土木部に現状を確認したところ、山越えの道路工事計画については白紙の状態でした。

そこで当時斐川にある誘致企業などに雲南はじめ県南部から通勤している従業員数を調べると、一日約6～700人、斐川から県南部へも約100人余り通勤していることがわかりました。数年後に高速松江尾道線が開通すれば更に需要は高まり、産業道路としての役割も増え、誘致企業の支援にもなると、当時の勝部町長と話し合い、島根富士通、出雲村田製作所、島根島津、スター精機、セキスイ成型工業など斐川誘致企業各社の皆さんと一緒に要望活動を行うことを考えました。

●2008年3月　斐川誘致企業団による知事要望

2月定例会開催中の3月7日(金)斐川誘致企業の皆さんと一緒に溝口知事に斐川上島線の整備要望に伺いました。企業団を引き連れての県知事要望活動は初めてのことであり、溝口知事も熱心に企業団の話を聞かれ、その場で早期整備の方針を示して頂きました。

その後道路工事の内容が検討され、トンネル工事による整備が決定。文化財など各種調査やルート選定、測量設計、地質調査、事前調整、用地買収などが進められることになりました。


知事要望

●2015年12月　上阿宮工区1.4キロの道路改良が完成、前面供用

●2021年9月　阿宮武部トンネル起工式

この間政権交代や東日本大震災の影響もあって十分な予算配分がなされず、工事はなかなか進められませんでしたが、9月26日(日)阿宮側トンネル坑口において工事の安全を祈願する起工式が執り行われ、ようやく工事が進む事になりました。



阿宮武部トンネル安全祈願祭

●2022年11月　トンネル貫通

その後１年余りをかけて火薬による発破と掘削、吹付けコンクリートによる補強、ロックボルトの打ち込みを繰り返しながら阿宮側から工事が進められました。途中2回にわたる突発的出水に見舞われましたが、工事関係者による遮水や排水対策が功を奏し、11月11日(金)無事トンネルが貫通しました。

●2023年1月　阿宮武部トンネル貫通式

1月15日(日)阿宮武部トンネルの貫通式典が約100名の関係者出席のもと盛大に執り行われました。

●現在　武部側2橋の設置と道路整備

今年は6億5千万の予算が当てられ、現在武部側で必要な2つの橋の設置とトンネル内を含めた道路整備、阿宮側に積まれたトンネル残土処理や整地など、最後の整備をおこなっています。2026年度末で進捗率は80%を大きく超えており、2027年度(令和9年度)早期完成を目指しています。


阿宮武部トンネル実貫通

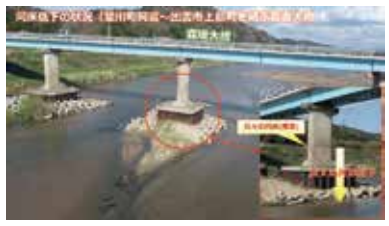


阿宮武部トンネル貫通式


武部側１号橋から２号橋

●今後　森坂大橋の架け替え事業の推進

今後この斐川上島線が更に重要な道路となるためには、雲南地域からのアクセス道路の整備が欠かせません。現在斐伊川左岸を走る出雲三刀屋線も改良工事が進んでいますが、それにアクセスするための斐伊川にかかる橋梁・森坂大橋は道幅も狭く、何度となく補強工事を行っていますが、橋脚が不安定で危険な状態です。斐川上島線工事完成後はこの橋脚工事に手を付けていかなくてはなりません。現在新しい橋の橋脚の設計が進められています。


老朽化した森坂大橋

工事を進めるにあたって

今回のこの斐川上島線の工事は、地元住民の皆さんの理解と絶大なる協力があって初めて成しえた事業でした。地元の将来、地域の将来、子供たちの将来を望み、描いて明るい希望をもって取り組むことのできた大きな事業であったと思います。今後もこの事業が斐川町・出雲市・島根県の発展に大きく寄与することを願っています。


上阿宮地区のトンネル残土置場

皆様のご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

●発行・連絡先：池田はじめ事務所
●編集：池田　一
●住所：〒699-0612 出雲市斐川町出西 2833　電話 0853-73-7720　FAX 0853-73-7721
●ホームページ：http://ikeda-hajime.com